

食 料 品

キ ュ ー ピ ー (株)

【本社】〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1の4の13 TEL03 (3486) 3331
【支店】東京、名古屋、大阪他【工場】仙川、中河原、拳母、伊丹、鳥栖、五霞、階上、泉佐野【資本金】241億400万円【社長】鈴木豊【事業】マヨネーズ、缶詰、卵製品など【HP】<http://www.kewpie.co.jp/>【売上高】年間2326億6800万円=2005年11月期

【物流管理部門】本社は物流管理室（〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-11-12諸戸ビル、TEL03-3486-3427）

【物流子会社】キューソー流通システム（〒182-0026 調布市小島町1-32-2、TEL0424-41-0711、資本金40億6300万円、売上高921億2500万円=2005年11月期、平田章社長）がある

【物流コスト】年間の運送費及び保管料120億6500万円=2005年11月期

【物流拠点】階上、五霞、仙川、中河原、拳母、伊丹、泉佐野、鳥栖の各工場倉庫が中心拠点。この他、物流子会社であるキューソー流通システムが全国に展開する倉庫、冷蔵倉庫がある

【輸送機関】トラック90%、鉄道3%、海運3%など

【利用物流業者】キューソー流通システムが元請。

トラックはワイエムキューソー、ゴカ・キューソー、コロモ・キューソー、トス・キューソー、原料搬入はエスワイプロモーション（系列）

【物流管理の特長】アセット型3PL基盤強化を進めているキューソー流通システムと一体となり、車両へのGPS・デジタコ搭載による輸送効率化や、車両の低公害車への転換を推進し、環境負荷軽減につなげている。受注・商品需給・在庫管理の統合管理を行っている「物流情報センター」を中核としたSCMの継続的な取組みにより、主要なカテゴリーの商品の在庫日数を10日以下に削減した。グループ全体の物流品質向上と物流改善を狙いとして06年より基幹システムのリニューアルによるグループ会社間の物流情報のリアル化・スピード化を進め、グループ物流の運用と情報の一元化に取り組んでいる。

キ リ ン ビ ール (株)

【本社】〒104-8288 東京都中央区新川2の10の1 TEL03 (5540) 3411【統括本部】首都圏、近畿圏、他【工場】横浜、仙台、名古屋、福岡、取手、岡山、滋賀、栃木、千歳、神戸、北陸【資本金】1020億4500万円【社長】加藤壹康【事業】酒類、飲料、医薬、他【HP】<http://www.kirin.co.jp/>【売上高】年間9356億2100万円=2005年12月期

【物流管理部門】国内酒類カンパニーのSCM本部（SCM推進部、物流部、原料資材部で構成）が管理する体制

【物流子会社】麒麟物流（〒104-0033 東京都中央区新川2-9-6 麒麟本社ビルアネックス、TEL03-6734-9651、資本金5億426万円、従業員数748人、大型車保有台数387台、和住雄造社長、売上高864億4400万円=2005年12月期）

【物流コスト】年間の運搬費207億4200万円=2005年12月期

【物流拠点】全国11ヵ所の工場が出荷拠点。物流センターは全国に約20ヵ所

【輸送機関】トラック95%、鉄道2%、その他3%

【利用物流業者】物流子会社「麒麟物流」が元請。現業は麒麟物流傘下の現業作業会社15社（ケービー物流東京、同名古屋、同阪神など）が中心。通運は日本通運、倉庫は日本通運、三菱倉

庫など

【物流管理の特長】06年3月の組織改正で物流本部を改組し、SCM本部を新設した。生産から販売までのサプライチェーン全体を統括すると共に需給調整機能を果たしていく。現在、グループ体制の見直しを進めており、06年10月に麒麟ビレッジを完全子会社化したのに続き、07年7月からは純粋持株会社体制に移行する。持株会社の名称は「麒麟ホールディングス」で、国内酒類事業は「麒麟ビール」の名称を引き継ぎ事業会社という位置付けとなる。物流の現業を担当する麒麟物流はキリングループ全体の物流業務の受託を進めており、チルド物流分野も強化している。同社は2010年をメドに売上高1000億円の達成を目標にしており、現在約30%程度のグループ外の売上高比率を50%まで高めていく。